

DREAM



photographed by Gensaku Izumiya
夢華花火

J4
108

DREAM

散華花火

photographed by Gensako Izumiya



CREO

114256



2006.12.03

【著者紹介】

泉谷玄作(いずみや げんさく)

◆1959年、秋田県仙南村に生まれる。

◆秋田県立六郷高等学校卒業、旭光学工業㈱に入社。1982年フリー写真家になる。自然風景、心象風景を撮影する。

◆1992年日本写真家協会会員となり現在に至る。◆千葉克介氏に師事。

◆著書《FLASH DANCE》、共著《彩りのみちのく 東北》《ふるさと日本列島 東北》《大歳時記、句歌花実》《NHK日本のうた、ふるさとのうた100曲》《京都花の1200年》他。

◆写真展《FLASH DANCE》光悦洞美術館。

◆《Office》秋田県仙北郡仙南村金沢西根字釜蓋71(〒019-12)

TEL.0187-82-1701, FAX.0187-82-1701

散華花火 ◆1995年4月25日 初版第1刷発行

◆著者＝泉谷玄作◎◆発行者＝赤平寛 一◆エディトリアル・ディレクター＝赤平寛 三◆デザイン＝熊谷博人◆プリンティング・ディレクター＝中江一大◆印刷・製本 日本写真印刷株式会社◆写植＝株式会社三山綜合システム◆発行所 株式会社クレオ(東京都渋谷区道玄坂1-21-6)電話03-3464-3025(代表)FAX.03-3464-0875振替・00120-3-539376◆©1995, Printed in Japan◆落丁・乱丁の場合はお取替えいたします◆ISBN4-906371-76-0

◆1979年より花火を特殊な技法で撮影して164冊になりました。この写真集に集められた花火の写真は、夢の花をテーマにした全国各地の花火の瞬間造形美の厳選です。

今回は、花火の瞬間をテーマにした作品集にしました。このつぎは、また別のテーマで作りたいと思っています。

◆私と花火との出会いは、物心ついたときから始まります。私の親戚が、秋田県の大曲の花火大会の会場のすぐ近くに作んでいたこともあって、幼少のころから花火大会に連れて行かれて見ていました。大きな音が「マン」というと耳が「キーン」と鳴り、しまいには食べていたブドウがのどにつっかえるという始末。そして、翌朝早起してらっかさんを探しに行く。楽しかったな……。

◆見応えのある花火大会、その競技大会では秋田県大曲市の大会(8月第4土曜日)と茨城県土浦市の大会(10月第1土曜日)で、打ち上げ総数が多いのは大阪のPL教団教祖祭(8月1日)。それに新潟県長岡市の大会(8月2、3日)、片貝祭り(9月9、10日)、そして東京の隅田川の大会、長野県諏訪湖の大会、静岡県熱海市の大会……など。まだまだ必見の花火大会が、数多くあります。みなさんも行って見てください。

◆この写真集で、私の花火の夢の花を少しでも感じていただければ幸いです。

◆最後に、この場をお借りしまして命を掛けて花火を打ち上げておられる全国の花火師さん、花火関係者の方々に厚く御礼申し上げます。これからも、すばらしい花火が打ち上げられることを、楽しみにしております。

◆花火は上記開催日で毎年行われます。

著 者























